

令和8年度 施政方針と予算概要

※PMHシステムとは、医療費助成などの情報をマイナンバーカードで確認できるシステム



砥部町長 古谷 崇洋

令和8年度予算は、厳しい財政状況の中、徹底した歳出の見直しを行いながら未来を描くために編成しました。昨年度の「土壌作り」を経て、今年度は将来への「種まき」を行う一年です。まず、次世代を担う子どもたちのために、小学校給食費の無償化や、避難所となる学校体育館の空調整備を計画的に進めます。放課後児童クラブの増設や高校生への通学支援など、子育て世代が安心して選び、住み続けられる環境を強気に整えます。また、現在この町を支えてくださっている皆様の暮らしも大切に守ります。本町の基幹計画である地域防災計画の更新により安全な基盤を固めながら、地域と連携した避難所登録制度などを通して防災力強化に取り組み、PMHシステムの導入や補聴器購入助成など、誰もが健康で安らげる町を目指してまいります。さらに、砥部焼磁器創業250周年を契機としたブランド強化や積極的な企業誘致により「遊・働」の面でも新しい活力を生み出します。

これまでの徹底した努力を、50年先も持続可能な町づくりへと繋げてまいります。これまでにない、新しい砥部町の挑戦にぜひご期待ください。

当初予算の概要

今年度の予算総額は、昨年度を3.0%上回る166億9,409万2千円となりました。このうち、一般会計は昨年度を1.1%上回る95億9,723万2千円となりました。なお、令和7年度の一般会計は、政策経費を補正予算で対応する「骨格予算」として編成していたため、本来の予算を計上すると1億499万6千円の増額となりました。

会計名		予算額	増減
一般会計		95億9,723万2千円	1億499万6千円
特別会計	国民健康保険事業	22億7,532万8千円	4,274万7千円
	後期高齢者医療	4億6,921万7千円	5,999万4千円
	介護保険事業	24億888万6千円	5,059万4千円
	とべの館	5,634万6千円	212万9千円
企業会計	下水道事業	11億2,074万円	1億6,047万2千円
	公共下水道事業	10億3,563万7千円	1億7,684万円
	農業集落排水事業	4,141万2千円	▲438万6千円
	浄化槽事業	4,369万1千円	▲1,198万2千円
	水道事業	7億6,634万3千円	5,959万4千円
合計		166億9,409万2千円	4億8,052万6千円



町の予算は

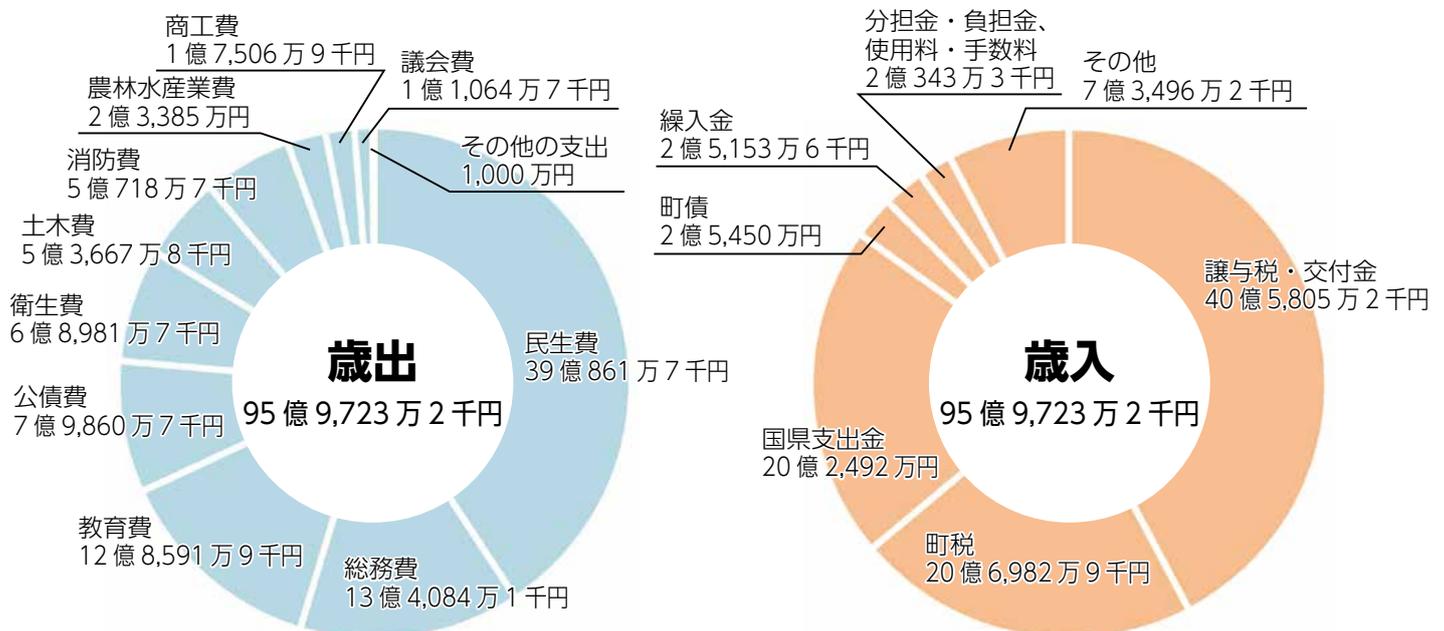
3つの会計で構成されています

一般会計：町税や地方交付税などを主な財源として、福祉や子育て、道路整備など、暮らしに身近なサービスを行う会計です。

特別会計：特定の収入で特定の事業を行い、一般会計とは分けて管理する会計です。国民健康保険事業特別会計など、4つの会計があります。

企業会計：公共の福祉を目的に、料金収入などで運営する独立採算の会計です。下水道事業会計と水道事業会計があります。

一般会計の内訳



令和8年度新規事業

「人が集まる町」を目指して「住・学・遊・働」の4つのコンセプトに基づいて新しい事業を行います。

住み続けたいと思える環境を整備します

- 子どもの居場所づくり事業 201万6千円



中央公民館の講堂や体育館を活用し、小中高生が自由に過ごせるスペースを設けます。安心して集い、交流できる居場所をつくります。

- 麻生小学校第4, 5放課後 児童クラブ建設事業 5,682万9千円

待機児童の解消に向けて、専用施設を新たに建設します。受け入れ人数を増やし、安心して預けられる環境を整えます。

- 防災体制の強化 816万4千円



最新の知見や過去の災害の教訓を踏まえ、地域防災計画を見直します。また、自主防災組織による避難所登録制度を新設し、防災・減災対策を強化します。

遊びと文化で誇れる砥部を創ります

- 砥部焼磁器創業250周年記念事業 316万9千円



令和9年度の「砥部焼磁器創業250周年」に向け、令和8年度よりプレ事業を展開します。東京藝大や砥部焼関係機関と連携しながら、新しいアプローチで250周年を盛り上げ、伝統を次世代へとつなげます。

子どもたちの学びを力強く支えます

- 小・中学校屋内運動場 空調設備設置事業 1億7,264万4千円



児童生徒の熱中症対策と避難所機能の強化のため、令和8年度に麻生小学校と砥部中学校の体育館に空調設備を整備し、令和9年度の導入に向けて、宮内小学校と砥部小学校の体育館、砥部中学校武道場の空調設備の設計業務を行います。

- 松山南高等学校砥部分校通学支援 724万5千円



砥部分校の定員充足を図り、安全な通学環境を確保するため、自転車やバス・JR通学定期券の購入費の一部を補助します。

働く場を広げ、持続可能な町を築きます

- 五本松・大南地区魅力創出事業 2,000万円 (先導的官民連携支援事業)

五本松・大南地区で、公共施設や空き家を活用したリノベーションを進めます。滞在・周遊型の観光地づくりを通じて、地域のにぎわい創出とブランド力向上を目指します。

- 都市空間情報デジタル基盤 構築支援事業 4,000万円

都市計画やまちづくりを効率的に進めるため、都市計画図を更新するとともに、3D都市モデルを整備し、デジタル化を推進します。